

ISHIBASHI CULTURAL CENTER 石橋文化ホール開館60周年事業 Museum Concert

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、コンサート開催を中止させていただきます場合がございます。中止の場合は、ホームページ上にてお知らせします。なお、コンサート実施に際しては以下の点について皆さまのご協力の程お願い申し上げます。

- 風邪などの症状、発熱等がある場合はご来場をお控えください。
- 会場内に設置する手指用の消毒液をご利用ください。
- 会場内ではマスク着用など感染症対策へのご協力をお願いします。

石橋文化センターは、株式会社ブリヂストンの創業者であり、
久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が1956年4月26日に久留米市に建設・寄贈した総合文化施設です。

「世の人々の楽しみと幸福の為に」

私たちはその思いを受け継いで、ここ久留米の地で、訪れる人の楽しみと幸福のある時間を創っています。

内山 覚〈ギター〉 Satoru Uchiyama



1966年、福岡生まれ。87年・武蔵野音楽学院 卒業/ジャズギター専攻、88年・渡米/パーカー音楽大学に留学、91年同校卒業。帰国後、福岡を拠点としてJAZZギタリストとして活動を開始。YAMAHAやFCA、個人スタジオにて後進の指導にもあたる。2001年～年末、年始にかけてNYに滞在し、勉強&演奏活動を行う。Peter Bernstein/Paul Bollenbackに師事。NY在住のミュージシャン達とNYレコーディングで現在まで、3枚のソロ・アルバム「Soul Eyes」(2005)「on the morningside」(2008)「NEO melodies in the key of creation」(2012)をAlmost Blue Recordsより発表している。2019年、ニューアルバムにNHK「世界ふれあい街歩き」の作曲家・村井秀清を音楽プロデューサー&ピアニストに迎えて「All the Shades of Blue」発表 <http://satoru-uchiyoama.net/alltheshadesofblue/>
CD発売記念コンサート@「あいろんホール」はSOLD-OUTで好評を博した。小野ひとみ(vo)のCD「Story's」に音楽プロデューサー兼ギタリストで参加。高樹レイ(vo)のユニット「ANNIVERSARY」でCD「武満徹 Songs」発表。リーダーバンド「Satoru NEO Quartet」では中洲JAZZ、佐賀城下JAZZ、KATASU JAZZ、...etc、多数に出演。また、アゴーラ福岡・山の上ホテルにて2度のディナーショー「One Night JAZZ LIVE」を開催。
★内山覚You Tubeチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCwZAn9HLVGSYCewpc_NeAVQ
★「内山覚(gt)X村井秀清(p)対談」
前編 <https://www.youtube.com/watch?v=bnRL-jSR248&t=11s>
後編 <https://www.youtube.com/watch?v=ZQtZ5O68QTg>
覚 <http://satoru-uchiyoama.net>

丹羽 肇〈ベース〉 Hajime Niwa



1967年長崎県出身。幼少時よりピアノ、チューバ、バストロンボーンを演奏する。その後ジャズを志し、ベースに転向。1992年にはNHKのコンテストで優勝しベストプレイヤー賞を受賞。コントラバスを吉浦勝喜氏(九州交響楽団)、藤井良子氏に師事。2010年に初リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」(バイオリン後藤龍伸、ギター田口悌治)を発売。2013年3月に知多半島音楽祭に自己のリーダーユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演し、大好評を博す。2011、2012、2013年と日本最大級のジャズフェスティバル、横浜ジャズブロードナードに出演。2014、2015年に吉岡秀晃(pf)トリオで佐世保JAZZに出演。2015年には大阪高槻ジャズストリート、韓国のChilpo国際ジャズフェスティバルに出演。2016年には野本秀一(pf)トリオでNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年には小國雅香(pf)GでNHK-FM「Session 2017」に出演。現在は福岡を拠点に九州をはじめ西日本、東北、札幌等でのライブ活動を行う。また多くのCDのレコーディングにも参加する。そして国内外のミュージシャンの九州ツアーに参加。編曲作も数多く、コントラバスアンサンブル「フレンズ」や読売日本交響楽団コントラバスセクションに提供する。2018年には秋山和慶指揮九州交響楽団に「A列車で行こう」を提供。またファゴットアンサンブル「メイプルズ」のCD「MAPLE's DEBUT!」に「ジャズメドレー」を提供。FSM(福岡スクールオブミュージック専門学校)などで後進の指導にもあたる。九州ベースクラブ会員。

尾崎 賢伍〈ドラム〉 Kengo Ozaki



12歳の頃に兄の影響でドラムを独学で始め、18歳で音楽を学ぶため福岡へ。18歳から21歳まで音楽学校にてドラマーとしての基礎知識を学び、23歳から講師を務める。現在は、ライブ活動、イベントプロデュース、企画運営を行う。ライブ活動として、デビッド・マッシュズ氏、akiko氏、青木カレン氏、池田達也氏、田口悌治氏、山野修作氏、丹羽肇氏など色々な方々と共演。ライブの良さを広める第1弾プロデュースイベント「〜和〜nagomi」では、様々なゲストをお迎えしつつ、様々な場所で演奏。2018年、1枚目〜和〜CD発売
・内山覚ツアー参加
・中洲ジャズ参加
・佐賀城下ジャズ参加
・熊本アートプレックス参加
<https://kengoozaki.jimdofree.com/>

塚本 美樹〈ピアノ〉 Miki Tsukamoto



大学在学中よりプロデビュー、1992年より、NYで演奏活動。帰国後1999年パーシー・フェイス・オーケストラの日本ツアーに唯一の日本人として参加。2000年Bass関村清とともに[Visions]結成。伝統芸能神楽をはじめ、映像、芝居、絵本と音楽のコラボレーションステージを手掛ける。TVCM制作(モンスト、fukusuke他)、映画音楽制作も携わる。2021年Galaxy賞・中原中也賞受賞作家アーサー・ピナードとのコラボレーション開始。雨ニモ負ケズの英語翻訳「Rain won't」(今人舎)を作曲。吉本興行主催、有楽町よみうりホールにて、ウーマンラッシュアワー村本大輔スタンドアップコメディ「Period」に、Jazz演奏コラボレーション出演。
<https://visionsmk.web.fc2.com/>

久留米市美術館 [本館2階]

コレクションing4 野見山暁治の見た100年

2023年4月22日(土)～6月4日(日) 開館時間:10:00～17:00(入館は16:30まで)

作品収集が現在進行形である、という意味を込めた「久留米市美術館のコレクションing」展。第4弾となる今回は、現在の飯塚市に生まれ、100歳を超えてもなお制作活動を続ける画家・野見山暁治(1920-)を中心に取り上げます。本展では、氏から寄贈された8点を含む久留米市美術館所蔵の13点と西日本シティ銀行から寄託を受けている6点の野見山作品を軸として、彼が見つめてきた100年にわたる日本洋画の展開をたどります。



野見山暁治《これだけの一日》2006年
久留米市美術館